

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月27日

協議会名:淡路島地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統確保維持費国庫補助金)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
淡路交通(株)	「洲本BC～志筑・津名高校前～津名港」の運行	燃料費の高騰など運行経費の増大など厳しい状況のなか、国補助制度の活用や県・市町独自の補助制度等により、島民生活に必要な移動手段の確保・維持を行なった。	A 計画どおり事業を適切に実施	A 燃油価格高騰や人材不足等の厳しい経営環境が続く中、国補助制度の活用、島内3市、事業者の連携度等により、島民生活に必要な移動手段の確保・維持を行なった。	<ul style="list-style-type: none"> 既に導入済みの「QRコード決済(PayPay)」のほか、県や市町の取り組みである「プレミアム付きデジタル商品券」等のキャッシュレス決済へ積極的に店舗登録し、参加することでお客様の利便性向上と共に、自治体との連携強化を図る。 引き続き、利用促進策の一環としての年間行事(こどもの日、敬老の日、年末年始等在来線割引キャンペーン)を実施し、路線バスの認知度を高め、利用者増を目指す。 淡路市コミュニティバス「あわ神あわ姫バス」との乗継利用の実態を把握し、ダイヤの調整等による利用促進を図る。 日常生活での路線バスの必要性を訴えると共に、将来のバス利用者への誘致を目指し、小学校低学年の児童向けに「バスの乗り方教室」を定期的に開催する。
本四海峡バス(株)	「岩屋ポートターミナル～志筑・郡家・室津～岩屋ポートターミナル」の運行		A 計画どおり事業を適切に実施		<ul style="list-style-type: none"> 淡路島へ来島するインバウンド客並びに国内客の利便性向上を図るべく、引き続きQRコードを用いたキャッシュレス決済等を活用する。 淡路市内の公共交通主要幹線として、淡路市と連携しながら、更なる利用促進策を策定する。 高校生に対する通学定期補助制度(淡路市主体)を活用し沿線高校への周知並びに利用促進を実施する。 小学生を対象に「バスの乗り方教室」を淡路市と連携し開催する。